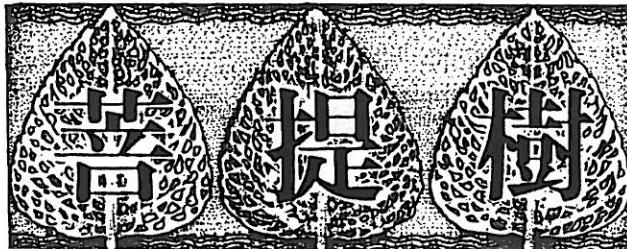


園章デザイン 人間国宝 田村耕一先生

第十九号



発行者／学校法人 吞龍愛育会
　　吞龍幼稚園
　　栃木県佐野市大沢町 2312
TEL 0283 (27) 0051
FAX 0283 (27) 0052
<http://www.sctv/?donryu-youchien/>
E-mail : donryu-youchien@sctv.jp
編集責任者／小林研介
題字デザイン／武井宏允先生
印刷所／荒畑印刷所

新ホームページ完成(YAHOOから検索できます)
<http://www.sctv/~donryu-youchien/>

<http://www.sctv/~donryu-youchien/>

想させます。歌声や色とりどりの花々そして沢山の生き物。子どもが喜んで育てたい。それだけで大袈裟に言えば人類の崇高なる願いであるように私は感じられます。そんな幼児の生きる場所をなんとか親御さんを含めて多くの大人や社会に対する知識を永きにわたりと思っていました。園の新聞であるこの「菩提樹」もそのひとつであり、作品展や運動会といった園行事も常に公開してきました。「皆さん見てください！子供たる姿をばらしいですよ。」そんな思いを込めながら。20世紀終盤から世の中は高度情報化社会と言われるようになりますが、私はなかなかなつておりますが、私はなかなかそういうことを実感できましまでございましたが、最近になりホームページという道具を得て、「これか！」という思い

市との道の奥に引っ込んだ小さな幼稚園の小さな出来事ではあります。しかし、こんなすばらしい世界もあるのですよ。世の中に発信することができるからです。可能性に満ち溢れた子どもの姿その育ちを支える先生やお父さん、お母さん。優しい街の人々。世知辛い俗世を離れた園の姿を不斷に伝えることはフレーベルが幼児の園と名づけた時の気持ちと重なるものがあります。

最後に易しくなったといえまだ技術の伴うホームページ作りを快く教えてくれた当園の元保護者会会長の永倉さん。更に担任の先生が10分間で子どもの姿をアップ出来るシステムを開発いただいた松下電器・IT教育研究所の福澤さんのご協力を厚く感謝申し上げたいと思います。

A black and white portrait of Dr. Michael S. Lai, a man with glasses and a suit, set within an oval frame.

香竇幼稚園

[Top Page](#)
[こんな間だよ](#)
[黒鳥ぶつぶつ](#)
[黒鳥窓から](#)
[黒行草](#)
[在籍生のページ](#)
[会合たんけん](#)
[クラブ春電](#)
[インフォメーション](#)
[リンク](#)
[メール](#)



- 保育のかたち
- 保育時間
- お弁当とキンダーランチ
- 障害児教育

「看管幼稚園のこと」をよく知っている人にホームページを作つて貰いたい！（HP）とお叱りを受けてしまいそうですが・・・。という園長先生の意向を受けさせて、全体のアウトラインの打ち合わせをし制作に取り掛かったのは昨年の3月でした。そしてUP（インターネット上で見られるようになります）したのは12月、年の瀬も押し迫った日の夕方で、外は雨が降りすっかり暗くなつたのを覚えてています。その時点ではまだ未完で、見切り発車的なページもありましたから、その後の手直しを含むと有り年弱を要してしまつたことになります。それであの程度？とお叱りを受けてしまいそう

園長小林研介

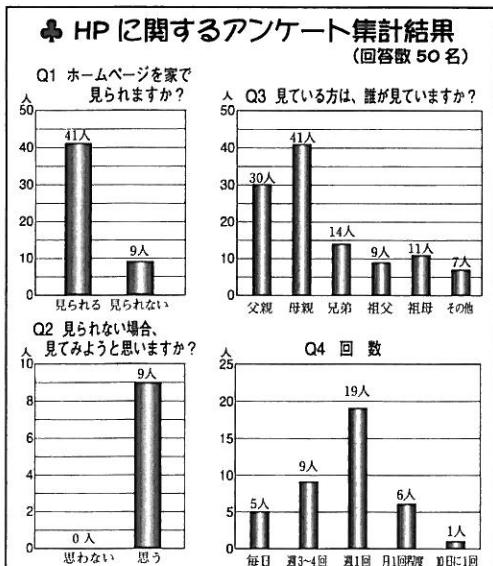
H.D.のイメージをほとんど
由に作らせで頂けたのはとても
有り難い事で、話し込んでいく
中で、幸い園長先生と私の構想
の差はあまりなかつたように思
います。制作にあたり古い物か
ら現在までの膨大な写真・呑竈
のロゴマーク・パンフレット・
封筒などに今まで揃えて頂き、

か保護者の皆様のお声なども聞
き園で頂きながら、将来保護者を整
理園のHPが「国と保護者を整
ぐ媒体として無くてはならない
もの」と位置付けられるよう
また、「園から外に発信する早
め有効な方策」として、少しづつ
つ成熟していくたらと願ってい
ます。

それらを拝見しながらどんどん迷っていた時間の方が長かった様に感じます。試行錯誤の末に表現を「可能性の卵」に、ページの中にはふんだんに子供たちの絵画や造形・写真を使うことによって企業のページのようにならざるを得ない、親子で楽しむ見られるような優しい感じの仕上がりを目指しました。春竜の、他の園にはない春竜らしいところがうまく出せるか、また園長先生の頭の中にある事が的確に形に出来るかという事がとても配でした。

現在H.P.は、U.Pして一息のいたのも束の間、佐野市合併により地図を作り替えたり、写真を入れ替えたりと、H.P.は生きものという事を実感しております。

本
ペーパー
作り
授
わつ
て
制作裏話
永倉文子



ホームページに対するご意見・要望などがありましたらどうぞ

ホームページを家で見ることができるとの意見 ◎園での子供の様子が見る事ができて楽しい。子供も見ながらいろいろ説明してくれる。 ◎月一回位、クラスたよりを載せて欲しい。 ◎「在園児の様子」では、園での様子がよく分かり子供との会話も弾む。 ◎今後も日常の子供たちの姿に数多く出会えることを期待します。 ◎写真など満遍なく写っているとよい。 ◎動画も見たい。 ◎家族はもちろん、離れて住んでいる祖父母も毎日楽しく見ている。 ◎行事ごとの写真が多いが、クラスごとで普段の様子も載せて欲しい。 ◎サイト上で過去の写真が見られるコーナーがあれば楽しいと思う。 ◎バス送迎なのであまり園での様子が分からなのだが先生からのお手紙・電話・HPで園の様子を見ることができてとても役に立った。 ◎「うちの子が写っていない」という方もいるが、保育室先生方が忙しい中撮ってくれているのでそれは批判すべきでないと思う。 ◎タイムリーなアップに満足している。

ホームページを家で見ることができない方の意見 ◎入園してから今までのものを全部見たいが、可能か？ ◎写真や文章などを全部コピーして貰うことは可能か…？ ◎園でもHPを見ることができると聞いたが、どうすればよいのか？ etc



呑竜幼稚園で始まつた 佐野の生活

平成 16 年度保護者会 会長 岡村公美

六年前、私達家族は、主人の転勤に伴い、佐野に越してきました。私は、佐野に移る前まで、0才から長女を保育園に預けていました。私は、佐野に移る前まで、私は子どもと一緒に楽しみ、貴重な時間を過ごせるようになるまで、そんなに時間はかかりませんでした。行事では、子どもでも遊びに行けない時があり、後で見たビデオの中に、うちの長女だけが先生に抱っこされたまま、寂しそうな姿をしていたのを見ても仕事が休めず、子どものお遊戯会に行けない時があり、後で見ただけで見ても明らかに以前のものとは、変化していました。今は今でも覚えています。そんな頃、佐野に転勤が決まり、私は、専業主婦となり、次女が産まれました。右も左も分からぬまま、数少ない情報を頼りに、長女を呑竜幼稚園に入れることを決めました。呑竜幼稚園は、親

藤原五月先生（平成 16 年度退職）

三月、もうすぐ卒園。子供たちがこんな事を言つてくれたのです。「先生、年長さんよりもっと大きいクラスを作ろう」と即答しました。幼稚園を卒園するという心のなんとも言えない淋しさをこんな言葉に例えそれが現実には実現する事は離しそうでも子供たちと私の心中でその思いが同じように実現できれば、その時お互いの顔はとびきりの笑顔に決まっているからです。私は幼稚園とい

て、何にでも興味津々で、その一人ひとりの個性を、先生達が把握した上で、大きな心で包んでくれる…。そんな安心できる幼稚園でした。子どもが呑竜幼稚園を卒園し、親子共々寂しい限りですが、呑竜幼稚園で培った貴重な体験は、将来においても、有意義なものになることと確信しております。

私が一緒に参加できる行事が多いので、最初は戸惑いましたが、私は子どもと一緒に楽しみ、貴重な時間を過ごせるようになるまで、そんなに時間はかかりませんでした。行事では、子ども達が見ただけで見ても明らかに以前のものとは、変化していました。また、呑竜幼稚園を通じて保護者の皆様のご協力のおかげで、多くの行事が楽しく思いで行き届いたご指導をして頂き、心よりお礼申し上げます。そして最後になりましたが、園長先生はじめ諸先生方には、ご熱心に、ビデオで見てもらわかに以前提のものとは、変化していました。また、長女、次女合わせて五年間、呑竜幼稚園に通つた事になりますが、大変感謝しております。終わりに、呑竜の子ども達は、いつものび

て感じた事ができ、驚きと喜びの連続でした。三年目、最後に一緒に過ごしてくれたのは年長の子供たちでした。子供たちには三年間を通して幼稚園教諭としていた。子供たちにも同じように幼稚園を大好きになつて欲しい、大人になつても忘れない思い出をプレゼントできるようないい出をしました。子供たちも同じように幼稚園教諭を目指そうと思いました。そしてそんな大好きな幼稚園でもう一度過ごすことができた三年間、私は本当に幸せでした。一年目、最初に出会ったのは、年長の子供たち。ついで、助かられてばかりでした。最後に三年間ご協力と温かい励ましをくださった保護者の皆様に心より感謝いたします。あ

16年度呑竜幼稚園児



ゆり



さくら



りす



ふじ



たんぽぽ



うさぎ

編集後記

（平成 16 年現在）

経営者懇談セミナー副委員長
佐野市教育委員
佐野市教育センター相談員
鈴木出版ステップブック
編集委員長

足利短期大学名誉学長
全日本私立幼稚園連合会顧問
日経連私立幼稚園連合会顧問
経営者懇談会顧問

政策委員長
栃木県幼稚園連合会
研究委員長

・日経連私立幼稚園
園長 小林研介

小林研介
編集責任者

たくさんの原稿がまたたく間に集まり、今年もすばらしい菩提樹ができあがりました。

平成 16 年度は、たくさん災害があった年でしたが、その分人の心のあたたかさを感じられました。

理事長・園長
教育研究活動
小林龍雄

平成十六年度